令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　25

事務事業名称		下水道施設維持管理事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　上下水道部		課：　下水道施設維持課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）			
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	下水道施設の維持管理が円滑に行われている状態。						
	対象者（受益者）	下水道施設を利用している市民/下水道施設を利用している事業者						
	現状・課題	下水道施設の円滑な利用受益の阻害。						
	事業の概要	下水道管理施設の清掃及び維持補修等が必要となった場合に、施工規模、難易度、施工内容、緊急性等を考慮した中で、直営と業者対応を見極めて、迅速に対応する。						
	年間の主な事務	・清掃及び維持補修等の自治会や市民からの要望受付対応 ・補修受付書の作成による業務の進捗管理						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	19.38人	15.90人	—	—
	再任用	0.00人	3.80人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.32人	0.18人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	148,993	150,663	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	498	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	148,993	151,161	—	—		
歳出	物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計		148,993	151,161	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		0	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 清掃及び維持補修等の実施する。	件	703 件	669 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	必要な保守点検等を実施する
指標	清掃及び維持補修等の実施件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	850	850	850	850	件
実績	703	669	—	—	件
算出方法	各年度の実施件数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

下水道施設の老朽化に伴い、維持補修件数並びに主出額が増額傾向となっている。
緊急性や費用対効果を考慮し効率的且つ効果的な維持管理が必要である。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	下水道施設の老朽化に伴い、維持補修件数は多い状況となっている。 緊急性や費用対効果を考慮し、効率的且つ効果的な維持管理に取り組めた。
R7年度	下水道施設の老朽化に伴い、維持補修件数は多い状況となっている。 緊急性や費用対効果を考慮し、効率的且つ効果的な維持管理に取り組めた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	緊急性や費用対効果を考慮して、効率的且つ効果的な維持管理を行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　36

事務事業名称		ポンプ場維持管理業務						
担当部署（R8年度機構）		部：　上下水道部		課：　下水道施設維持課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	1.災害に対する備えができているまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定（継続実施含む）			
	根拠法令等	下水道法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質：　—		
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	ポンプ場維持管理の充実による、浸水被害の軽減及び生活環境の維持あるいは向上している状態。						
	対象者（受益者）	雨水ポンプ場排水区内・汚水ポンプ場の処理分区内の市民/雨水ポンプ場排水区内・汚水ポンプ場の処理分区内の事業者						
	現状・課題	雨水ポンプ場施設の老朽化に伴う不具合による浸水被害への懸念./汚水ポンプ施設の老朽化等に伴う不具合による生活環境への影響。						
	事業の概要	各ポンプ場施設及び、各機器の点検や整備を継続的に行うことにより、雨水排水や生活排水を円滑に行い、まちの安心・安全を高める。 年間を通じて、市内各施設（52箇所）の維持管理を行う。						
	年間の主な事務	・雨水大ポンプ場　8箇所 ・雨水小ポンプ場他雨水施設　27箇所 ・汚水中継ポンプ場　2箇所 ・汚水マンホールポンプ他汚水施設　15箇所 【維持管理方法】・各種委託、小規模修繕、直営による保守点検整備						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	13.92人	12.59人	—	—
	再任用	0.00人	0.90人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.10人	0.06人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出	内訳 正職員、再任用、任期付職員	107,017	108,121	—	—		
	内訳 会計年度任用職員	0	166	—	—		
	内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
	内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	107,017	108,287	—	—		
	物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計		107,017	108,287	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		0	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ポンプ 場の定期的な点検	回	538 回	531 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	雨水排水や生活排水が円滑に行われた。
指標	雨水ポンプ場保守運転回数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	552	552	552	552	回
実績	925	848	—	—	回
算出方法	作業日誌から確認する				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

ポンプ場の老朽化が進んでいることから適正に維持管理を行う必要があり、維持管理費が増加する。
雨水ポンプ場については直営及び委託等による点検整備を継続して行い、運転を円滑に行えるよう維持管理に努め、汚水中継ポンプ場については委託による点検整備を継続的に行い、流域下水道へ排除し、処理が適切に行えるよう維持管理に努める。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	雨水ポンプ場及び汚水中継ポンプ場について、点検整備を継続して行い運転を円滑に行えるよう維持管理に努めた。
R7年度	雨水ポンプ場及び汚水中継ポンプ場について、点検整備を継続して行い運転を円滑に行えるよう維持管理に努めた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	雨水ポンプ場等については直営及び委託等による点検整備を継続的に行い、運転を円滑に行えるよう維持管理に努める。 汚水中継ポンプ場については委託による点検整備を継続的に行い、流域下水道(終末処理場)へ排除し、処理が適切に行えるよう維持管理に努める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　811

事務事業名称		北部別館維持管理業務						
担当部署（R8年度機構）		部：　上下水道部		課：　下水道施設維持課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	当該施設の維持管理を充実させることにより、就労環境が整備できている状態。						
	対象者（受益者）	課の職員						
	現状・課題	費用対効果を踏まえ効率的で効果的な当該施設の維持管理。						
	事業の概要	年間を通じて、北部別館庁舎の維持管理を行う。						
	年間の主な事務	・定期清掃・設備機器（電気・空調・火災報知器）の保守点検 ・警備業務						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制 （人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.36人	1.32人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.24人	0.32人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 （千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	10,456	10,836	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	1,400	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	10,456	12,236	—	—		
歳出 物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計	10,456	12,236	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）	0	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 北部別館庁舎を適切に維持管理するための保守点検等	件	5 件	5 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	北部別館庁舎が適正に維持管理された。
指標	北部別館庁舎を適切に維持管理するため保守点検等の件数。

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	5	5	5	5	件
実績	5	5	—	—	件
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—
指標	—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

恒常的かつ適正な庁舎の保守点検で、北部別館の修繕等が発生した場合は支出額が多くなることから、適切な庁舎使用並びに維持管理を心がける。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	恒常的かつ適正な庁舎の保守点検で、北部別館の修繕等が発生しなかった。
R7年度	恒常的かつ適正な庁舎の保守点検で、北部別館の修繕等が発生しなかった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	北部別館庁舎の修繕等が極力発生しないよう、職員による適切な庁舎利用、並びに維持管理を心掛けるよう努め、恒常的な保守点検を実施する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　894

事務事業名称		下水道施設維持課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　上下水道部		課:　下水道施設維持課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	課の運営が円滑に図られている状態。						
	対象者(受益者)	課の職員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。						
	事業の概要	課の運営業務						
	年間の主な事務	なし						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.48人	1.45人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.36人	0.48人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	11,378	11,903	—	—		
		会計年度任用職員	0	2,100	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		11,378	14,003	—	—		
	物件費計		0	0	—	—	0	0.0%
歳出計			11,378	14,003	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	課の運営が円滑且つ適正に図られていると判断している。
R7年度	課の運営が円滑且つ適正に図られていると判断している。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	引き続き、所管事業等について迅速な処理に努める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―